



プラネタリウム
100周年

真実にたどり着くために

MMX

火星衛星探査計画

監督・脚本:上坂 浩光 ナレーター:中川 慶一 音楽:酒井 義久 監修:白井 寛裕/橘 省吾
協力:JAXA 火星衛星探査機プロジェクトチーム 制作・著作:MMX製作委員会

● LIVE / 五藤光学研究所 / 科学技術広報財団 / 神戸市立青少年科学館 / ALLSTAFF CO.,LTD.

プラネタリウムのある科学館
倉敷科学センター

全天周映画 (大型ドーム映像)

2024年11月6日(水)より上映開始

はやぶさを引き継ぐ、 サンプルリターンミッション

MMX ミッションは、「はやぶさ」「はやぶさ 2」の技術を受け継ぎ、火星の衛星フォボスに着陸してサンプルを持ち帰るといった意欲的なミッションです。フォボスは小惑星と似通った組成を持つ衛星として知られ、その起源は謎に包まれています。

また火星に近い軌道を回ることから、火星への隕石落下によって巻き上げられた物質がフォボスにもあるのではないかと予測されています。サンプル採取が成功すれば、世界初の成果となり、フォボスのみならず、火星の物質も持ち帰ることができるかもしれません。それによってフォボスの起源を解明し、地球に生命をもたらしたかもしれない小惑星への理解も深まるでしょう。

MMX 探査機

目的地であるフォボスは直径 22km、火星表面からわずか 6000km の距離を巡る衛星です。この大きな重力圏の中で探査を行うため MMX は大量の燃料を積み、「往路」「探査」「帰還」の3つのモジュールによって構成され、使い終わったモジュールを分離していく構造を持っています。またロボットアームを使い、地形のパターン認識で自動的に採取場所を選択するなど複雑な動作を行います。この作品でフォボス探査を体感してください。

リュウグウのサンプル解析からみえてきたもの

サンプルを地球に持ち帰ることが、どれほど大きな意味をもつのか？
作品中では「はやぶさ 2」が持ち帰ったサンプルによって、何がわかったのかをわかりやすく解説。サンプルにシームレスにズームアップし、その表面の様子を臨場感たっぷりに描写します。解析によって得られた 46 億年前の太陽系や、リュウグウの形成過程も必見です。



JAXA との全面協力

探査機の完成前から始まった本作の制作において、MMX プロジェクトチームとの協力体制はとても重要なものでした。ミッション全体は白井 寛裕氏。サンプル解析シーンは、初期分析チームの統括を担う橋 省吾氏に監修をお願いしました。

HAYABUSA 三部作の上坂浩光監督と、酒井義久の音楽

はやぶさを引き継ぐこの作品に、HAYABUSA 三部作のスタッフが再び集結。より一層クオリティアップした映像もお楽しみください。



全天周映画 (大型ドーム映像/約45分)
「MMX 火星衛星探査計画」
2024年11月6日(水)より上映開始

◆開館時間 9:00~17:15 ◆休館日 月曜(祝日の場合は翌日、年末年始)

◆全天周映画観覧料 幼児は無料(大人の保護者同伴のこと)
おとな500円/高校生350円/小・中学生250円

※最新情報は当館ホームページか
お電話でご確認ください。



ライフパーク倉敷
倉敷科学センター

倉敷市福田町古新田940ライフパーク倉敷内(福田公園北隣)

TEL (086)454-0300

Web: 倉敷科学センター 検索

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。